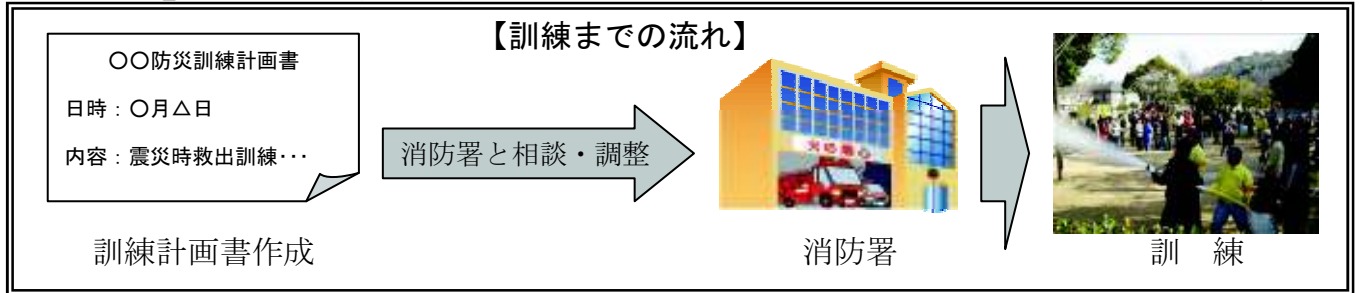


# 防災訓練の進め方

実際の災害に直面したとき、とっさに適切な行動をとるのは難しいものです  
日頃から繰り返し十分な防災訓練を積んでおくことが最も重要です

## 1 防災訓練を計画する時のポイント

訓練は、①災害発生時に役立つか？②防災知識や技術が身につくか？の2つにポイントを絞りましょう。また、時間内で効果的な訓練を行うためにも事前に『訓練計画書』を作成して、消防署へ提出・相談してから実施するように心掛けましょう。



## 2 訓練計画を作成する時の注意点

### (1) 災害の想定は何か？

津波や洪水、土砂崩れなど地域特性による訓練か？どのような地域にもあてはまる訓練をするのか？を決めましょう。

### (2) 訓練の種類は？

災害の想定が決まれば、「情報収集・伝達訓練」「消火訓練」「避難訓練」「救出・救護訓練」「給食・給水訓練」「図上訓練」「救急訓練」などの種類を選びましょう。

### (3) 日時の決定

多くの人が参加できるように、真夏や真冬などの時期は避けるようにしましょう。地域の清掃活動や祭りなどの行事に併せて行えば参加しやすいでしょう。

訓練時間は、参加人数や内容にもよりますが、参加者の負担にならない程度の時間とするように配慮しましょう。

### (4) 参加人数

訓練時間、場所、事故防止管理などを考慮して参加人数を決めましょう。

計画書の例

防災訓練実施計画書	
団体名	〇〇防災福祉コミュニティ
訓練責任者	防災 太郎 078-325-8510
担当者	消防 花子 078-325-8525
日時	平成 21 年 1 月 17 日 (日) 10:00~12:00
訓練場所	中央区加納町 6 丁目 5-1 消防小学校運動場
参加人数	約 300 名
消防協力	消防署員による指導を希望
実施内容	・消火器取扱い ・バケツリレー ・消火栓による放水 ・小型ポンプ取扱い ・天ぷら油火災
備考	消防車展示希望

#### (5) 雨天時の対応

雨天時の決行、中止、延期についてあらかじめ決めておきましょう。また、雨天時の代替訓練（防火ビデオ・防災講話など）も話し合っておきましょう。

#### (6) 場所の決定

訓練内容、参加人数に合った場所を選びましょう。屋外訓練をする場合は、公園、学校のグラウンドなどが適しています。利用する時には管理者などの使用許可や届出が必要な場合がありますので事前に確認をしましょう。

#### (7) 消防署との調整

訓練を行う場合は、消防職員の立会いの有無に関らず必ず事前に消防署へ報告しましょう。特に、職員の訓練指導、消防車展示、資器材の貸出が必要な場合は事前に相談し、その内容を訓練計画書に盛り込むようにしましょう。

#### 【地区担当者】

消防署には、各防災福祉コミュニティの訓練指導などを担当する各地区専属の職員（地区担当者）がいます。各種ご相談は地区担当者へ！



#### (8) 事故防止

参加者に対して「資器材の操作方法」などを説明して訓練中の事故防止には万全の注意を払いましょう。特にガソリンを使用した消火訓練はヤケドの危険性が高いので、地区担当者の指導、立会いを受けてください。万が一事故が発生した場合は、救護を最優先して適切な処置を行いましょう。

#### ワンポイントアドバイス

- ☆お住まいの地域の防災福祉コミュニティを担当する消防職員（地区担当者）を確認しましょう。
- ☆訓練計画がうまく作成できない場合は消防署にご相談ください。
- ☆消防団や区役所に連絡したい場合で窓口が不明の場合は、消防署へご相談ください。
- ☆訓練メニューにはどのようなものがあるのか確認しましょう。
- ☆消防署には様々な訓練用資器材があります。
- ☆救急講習会は神戸市防災安全公社で実施していますTel078（362）6931